

## 第2章 歳入増加策について



# 1 市税や国民健康保険税等の納税推進

一人一人が滞納しないことが健全財政の第一歩

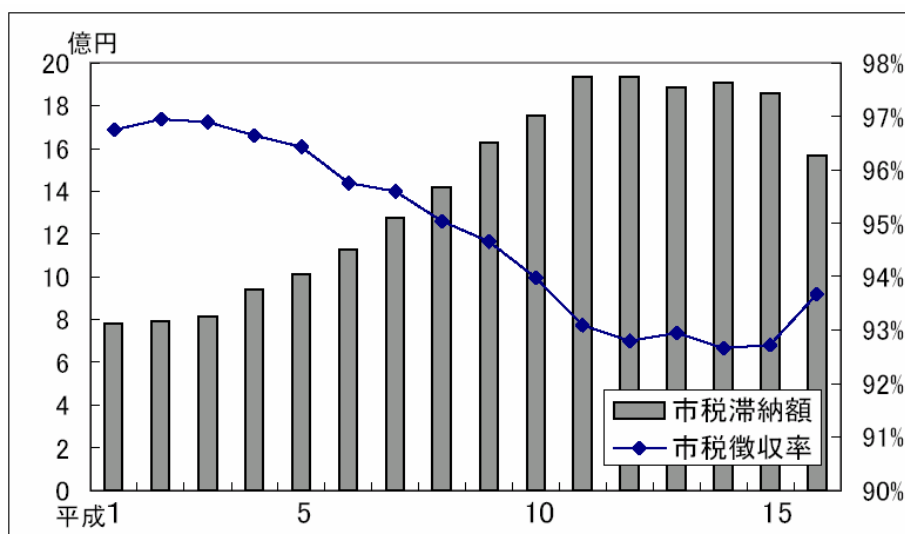
市税は、私たち市民が、安心した健康的な社会生活を営むための公共サービスを提供するために必要なお金です。また、国民健康保険は、日野市が事業主として運営している健康保険で、お年寄りから個人事業者、パートやアルバイトの方々と幅広い市民がその保険料を支払うことで、保険の恩恵を享受しています。

このような公的なお金は、自分の収入や資産に応じて、キチンと納付することが市民の義務です。しかし、以下のグラフに示すように、市税の未収入額は平成11年ごろまで急増しましたが、平成16年度は徴収率の向上もあり16億円を切るレベルにまでなりました。一方国民健康保険税は約11億円の滞納額に上り、徴収率は75%を切っています。

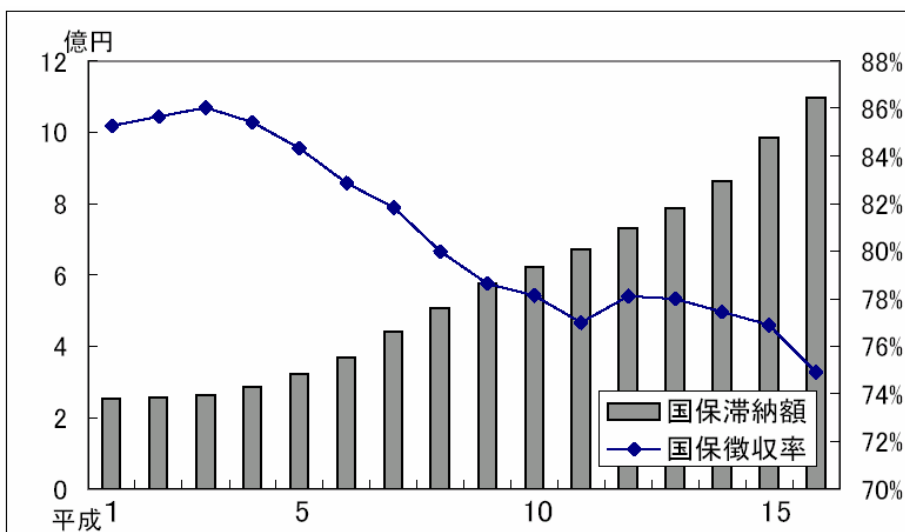
市民としては、社会の一員として、私たちが安全で安心した環境を守り、子供たちにこれらをしっかり伝えていくために、自己の所得や資産に応じて、必ず税金を収めましょう。

また、市としては、社会の公平性の観点から、法的手続きを含めた、徴収の実施を徹底すべきといえます。

市税滞納額と徴収率



国保未収入額と徴収率



現年度分および滞納分を合わせた徴収率

## 最近3年間の詳細データ

このことを、平成14年度から平成16年度までの決算で詳しく分析してみると、以下の表に示すような状況になっています。

(単位百万円)

	平成14年度		平成15年度		平成16年度		徴収率(平成16年度)	
	欠損	滞納	欠損	滞納	欠損	滞納		
市税	179	1,908	176	1,857	221	1,565		
個人市民税	120	945	76	937	109	738	徴収率	現年度 98.1% 滞納 16.1%
法人市民税	4	21	4	22	5	24	徴収率	現年度 99.6% 滞納 17.1%
固定資産税	45	774	79	737	88	654	徴収率	現年度 98.7% 滞納 16.8%
都市計画税	9	159	16	151	18	139		
軽自動車税	1	10	1	10	1	10	徴収率	現年度 95.5% 滞納 26.6%
負担金・手数料	26	101	6	106	7	110		
知的障害措置費		4		4	1	3	徴収率	0.0%
老人措置費	6	4	0	4	0	3	徴収率	82.7%
保育園	19	20	4	19	4	19	徴収率	95.3%
学童クラブ		4		5	1	6	徴収率	89.4%
市営住宅		59		66	0	71	徴収率	72.8%
幼稚園		1		1	0	1	徴収率	98.4%
清掃費	1	4	1	3	1	1	徴収率	99.6%
生活つなぎ資金		5		4	-	4	徴収率	1.8%
特別会計	77	912	83	1,047	117	1,163		
国保一般	75	856	77	963	107	1,054	徴収率	現年度 89.4% 滞納 12.2%
国保退職	0	5	1	20	2	42	徴収率	現年度 98.4% 滞納 18.0%
下水道使用料	1	23	1	25	1	26	徴収率	98.7%
介護保険(普通徴収)	1	27	4	37	7	41	徴収率	現年度 92.0% 滞納 25.4%
合計	256	2,921	259	3,010	345	2,838		

欠損：不納欠損額のこと。時効などにより、徴収することができなくなった金額

滞納：収入すべき金額でまだ入金がない金額。決算書では収入未済額と言われる。

滞納は年度をまたいで滞納しているものに対する徴収率。現年度はそれ以外の徴収率。

滞納額の合計は約28億円にも上りますが、そのうち個人の市民税と固定資産税、国民健康保険税で約25億円とその8割以上を占めています。これらについて重点的に対策が必要と考えられます。

市民税や固定資産税については口座振替の促進などにより、前年度に比べ徴収率がやや向上しました。

また滞納額も減少しています。一方で国保の滞納額は増加しています。

また市民住宅や生活つなぎ資金の返済など徴収率が著しく低いものもあり、それらについては徴収のあり方や政策のあり方を含め見直す必要があるのではないかと考えられます。

## 2 経済活性化と歳入増加

財政健全化のためのもうひとつの鍵は歳入の増加

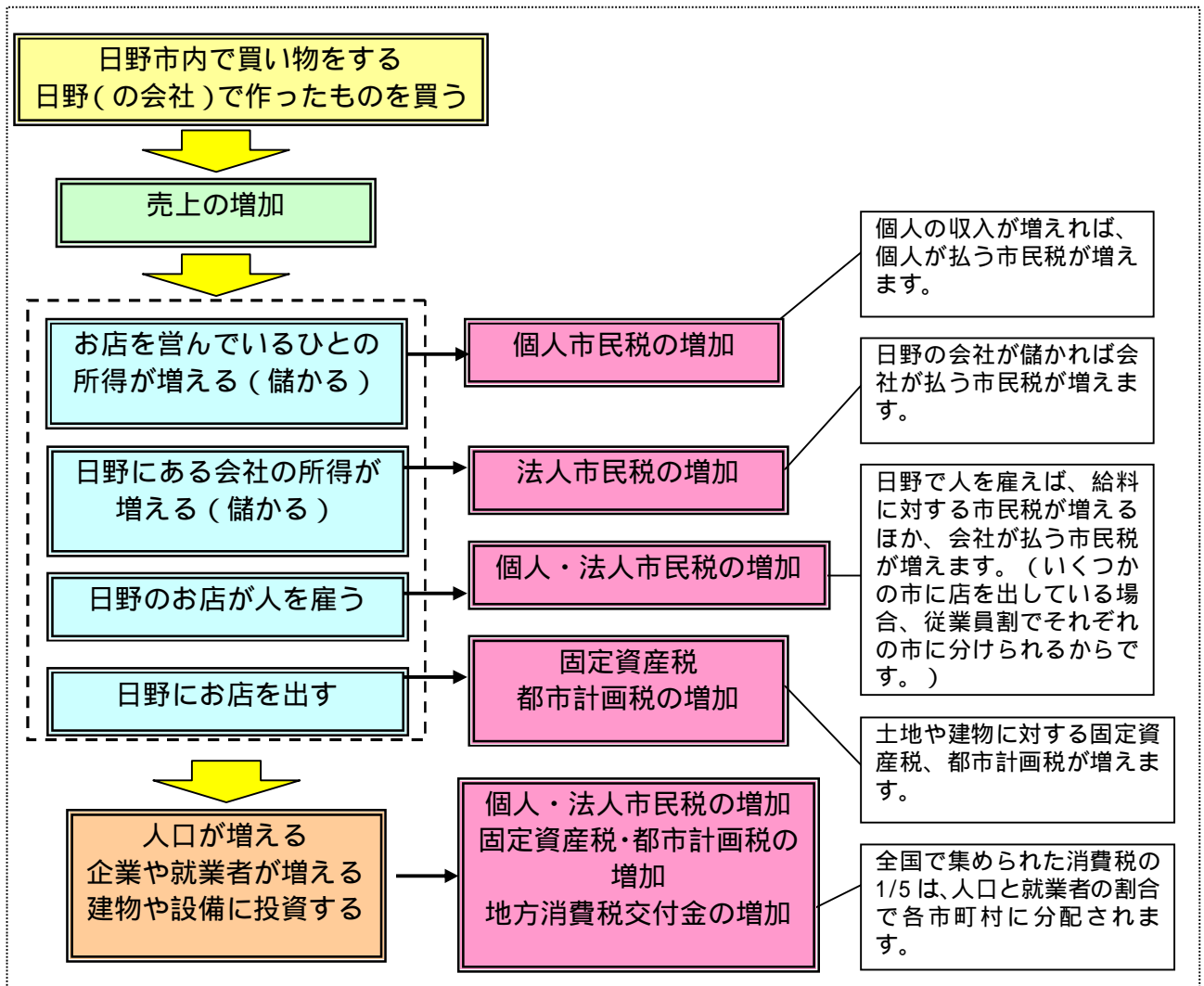
財政の健全化のためのもうひとつの鍵は歳入の増加です。

歳入を増やすのは簡単なことではありませんが、基本的には日野の街を活性化することが第一です。

市民一人一人ができることとしては、例えば「買い物は日野市内でする」「日野で作ったあるいは日野の会社で作ったものを買う」ことがあります。

### (1) 買い物の効果

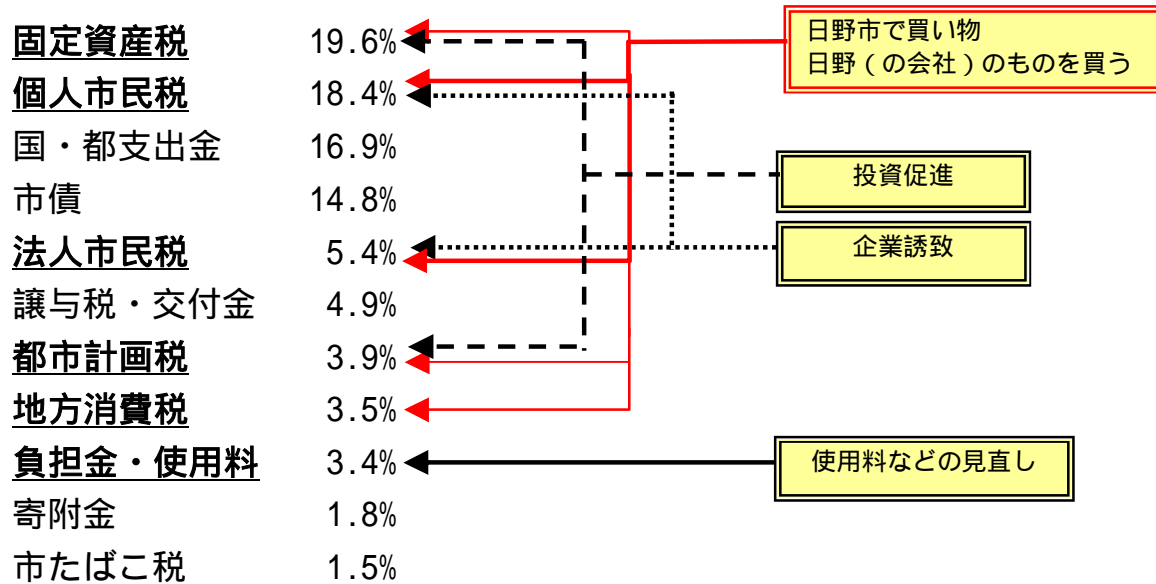
同じ買い物をするでも日野市内で買い物をすると、どのように財政の健全化に貢献するのでしょうか？



上のように、日野市内で買い物をすると、(風が吹けば桶屋が儲かる的などころはありますが、)いろいろな面から日野の増収に結びつきます。また街自体の活性化にも貢献することができます。

## (2) その他の増収策

日野市の上位の歳入項目のベスト10は以下の通りであり、これで全体の94%を占めています。先ほど述べた「日野市内での買い物」が歳入のいろいろな項目に対して効果がありますが、その他にも、企業や投資の誘致による固定資産税や法人市民税の増加、使用料等の見直し（これは歳入の削減にもつながります。）などが、歳入を増やすための施策として考えられます。



なおたばこ税は、市で買えばそのまま市の歳入になりますが、喫煙は有病率を上昇させ、医療費などの上昇を通じて財政を圧迫する要因となる（医療費が約4%程度増えるだけでプラスマイナス0になってしまいます。）ので、その収支のバランスについては注意が必要です。

できれば、たばこは控え、もし買うのであれば日野市で買うようにするのがよいのではないのでしょうか。

